



2025 年度

グローバル・ビジネス研究科シラバス

明治大学専門職大学院

# 目 次

I	行事予定	5
II	履修手続きの注意事項	9
	修了要件について・履修にあたっての注意事項	10
	履修登録について	11
	レポート・論文の剽窃（盗用）行為への注意	12
	科目ナンバリングについて	13
	明治大学グローバル・ビジネス研究科 ILOs 体系	14
III	授業科目一覧	15
	授業科目及び担当者	16
	クラスター履修モデル	21
IV	2025 年度開講科目	23
	必修科目群・共通科目群	25
	専門科目群	
	ファイナンス・リアルエステート領域	43
	マネジメント領域	66
	アカウンティング領域	104
	マーケティング領域	121
	ビジネス・ロー領域	142
	論文演習	153
V	ILOs 体系一覧	178
VI	教員 E-mail アドレス一覧	186

## 人材養成その他の教育研究上の目的

本研究科は、経済・社会のダイナミズムの高揚のため、専門的な知識・スキル、情報分析能力、価値創造力、広い視野及び高度な倫理感覚、リーダーシップ、グローバルな視点を備え、経営者や上級幹部として組織のマネジメント全般を担うジェネラルマネージャーの養成を基本理念としている。加えて広く社会からの負託に応えるべく、併せて次のようなビジネス・プロフェッショナル人材の養成にも努める。

- ・ファミリービジネス発展のための経営者、後継者及びサポート人材
- ・新規事業や第二創業を含むスタートアップビジネスを担うイノベーション人材

その人材養成目標のために企業・組織マネジメントに加え、ファミリービジネス、スタートアップビジネスに係る研究を行い、学生と教員の共創の場、学生の実務と理論の自主的な学びの場、キャリアチェンジの場及びビジネスマッチングの場を提供する。

## 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

本研究科では、専門的な知識・スキル、価値創造力、広い視野及び高度な倫理感覚、リーダーシップ、グローバルな視点を備えたビジネス・プロフェッショナル人材を養成するために、最先端の理論と実務に基づいた必修科目、共通科目、専門科目、論文演習によって教育課程を編成している。

本研究科の入学者は多様な背景をもち各専門知識の深度は大きく異なる。そのために本研究科のカリキュラムでは必修科目5科目を設け、MBAとして必要な受講生の知識水準を合わせるように配慮されている。基礎的共通知識は共通科目で学習する。また、専門科目には、マネジメント、マーケティング、アカウントティング・税務、ファイナンス・不動産、ビジネス・ローの専門5領域に関する科目がある。加えて、各領域を横断的に総合する体系として、ファミリービジネス・クラスターとスタートアップビジネス・クラスターを設定している。各領域、各クラスターにおいて人材の養成に関する目的及び教育研究上の目的を達成するべくカリキュラムを編成している。学生は、主としてこれらを、体系的に自主性をもって学習することが期待される。

各科目の教員は、専門の研究者のほか、実践的知識を備えた先端の実務家講師を起用している。授業の方法は、少人数教育、双方向・多方向、ケーススタディ、英語講義、海外研修などの多様な形式によるプログラムを最も効率的かつ柔軟に組み合わせ履修できる体制を整備している。

修了には修士論文に相当する論文の提出およびその審査に合格することを要件としており、そのために学生は、興味ある主題に対して徹底した討論と個別指導を通じて、単に論文作成能力だけでなく、自主的な思考能力や分析能力を高めることが可能となる。また、授業を通じて得た専門的知識・スキルや、ディスカッション・研修で得た様々な経験の集大成としての論文は、本研究科における各自の学習成果として総合的に評価される。このようなカリキュラムと指導を通じて博士後期課程への進学にも備えることが可能となる。

また本研究科では進化を続けるビジネス、テクノロジーや学問に適応できるように卒業後も科目等履修制度と同窓会制度により、生涯学習と知識のリファインを続けていく体制を整備している。

## 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

### 目指すべき人材像

本研究科は基本理念に沿って、企業の経営者や上級幹部として組織のマネジメント全般を担う人材の養成を目指す。さらに、ファミリービジネス発展のための経営者、後継者及びサポート人材、新規事業や第二創業を含むスタートアップビジネス及びイノベーションを担う人材を養成することを目的としている。

具体的には、マネジメント、マーケティング、アカウンティング・税務、ファイナンス・不動産、ビジネス・ローに関する科目を設置し、ジェネラルマネージャーを養成し、さらに人材養成の目的に合わせて横断的に統合するファミリービジネス、スタートアップビジネスの2つのクラスター制度を導入することにより、上記の目指すべき人材を育成する。

この人材養成の目的を踏まえ、本研究科の定める修了要件を充たし、かつ、学業成績ならびに専門職成果報告書（修士論文）から、以下に示す能力や資質を備えたと認められる者に対し、「経営管理修士（専門職）：Master of Business Administration」の学位を授与する。

- ・常に ERS を意識して企業実務やビジネス環境を倫理的側面から把握する。
- ・革新的な起業家精神を涵養する。
- ・ビジネスにおける多文化的な背景を理解し、グローバルな環境において効果的にコミュニケーションを行う。
- ・主なビジネス領域における強固な知識基盤を養い、実際のビジネス実務においてそれを統合し総合化する。
- ・複雑で不確実なビジネス環境において、戦略を立案・実行し、リーダーシップを発揮する。

### そのための具体的到達目標

本研究科では、各領域のプロフェッショナルを志望する学生に対しては、各専門科目のバランスの良い履修とともに、各人の個性に応じて特定の専門分野を深く掘り下げて学習する場を提供し、社会や企業で役立つ実践的知識の習得を到達目標としている。また、理論学習においても博士後期課程への進学が可能な水準まで到達することを目標としている。

# I 行事予定

# 2025年度 明治大学グローバル・ビジネス研究科 学年暦・行事予定

※明治大学学年暦とは一部異なります。

◀春学期▶ 4月1日(火)～9月19日(金)

2025 4月 ※3/29(土)4月入学者ガイダンス							2025 5月							2025 6月						
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
31	01 授業なし	02 授業なし	03 ① 予備登録開始	04 ①	05 ①	06	28	29	30	01 臨時休業日 事務室閉室	02 臨時休業日 事務室閉室	03 憲法記念日 事務室閉室	04 みどりの日	26	27	28	29	30	31	01 オープンキャンパス
07 ① 4月入学式	08 ①	09 ① 予備登録済	10 ②	11 ②	12 ②	13	05 ⑤ こどもの日 事務室閉室	06 ⑤ 振替休日 事務室閉室	07 ⑤	08 ⑤	09 ⑤	10 ⑤	11	02 ⑧	03 ⑧	04 ⑨	05 ⑨	06 ⑨	07 ⑨	08
14 ②	15 ②	16 ②	17 ③	18 ③	19 ③	20	12 ⑤	13 ⑤	14 ⑥	15 ⑥	16 ⑥	17 ⑥	18	09 ⑨	10 ⑨	11 ⑩	12 ⑩	13 ⑩	14 ⑩	15
21 ③	22 ③	23 ③	24 ④	25 ④	26 ④	27	19 ⑥	20 ⑥	21 ⑦	22 ⑦	23 ⑦	24 ⑦ 1Q終了	25	16 ⑩	17 ⑩	18 ⑪	19 ⑪	20 ⑪	21 ⑪	22
28 ④	29 ④ 昭和の日 休日授業日	30 ④	01	02	03	04	26 ⑦	27 ⑦	28 ⑧ 1Q終了(6限) 2Q開始(7限)	29 ⑧	30 ⑧ 1Q終了(6限) 2Q開始(7限)	31 ⑧ 2Q開始(7限) 全ミ登壇祝祭会	01	23 ⑪	24 ⑪	25 ⑫	26 ⑫	27 ⑫	28 ⑫	29
														30 ⑫						
2025 7月							2025 8月							2025 9月						
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
30	01 ⑫	02 ⑬	03 ⑬ 論文提出	04 ⑬ 論文提出	05 ⑬ 論文提出	06	28	29	30	31	01 夏季休業 8/1～9/19	02	03	01	02	03	04	05	06	07
07 ⑬	08 ⑬	09 ⑭	10 ⑭	11 ⑭	12 ⑭ セミ登録済 2Q終了	13	04	05	06	07	08	09	10	08	09	10	11	12	13	14
14 ⑭	15 ⑭	16 ⑮ 2Q終了	17 ⑮	18 ⑮ 2Q終了	19 補講	20 口頭試問	11	12	13	14	15	16	17	15 敬老の日	16	17	18	19 9月入学式 9月修了式 学位授与式	20 9月入学者ガイダンス	21
21 ⑮ 海の日 休日授業日	22 ⑮	23 補講	24 補講	25 補講	26 補講	27	●夏季休業期間の事務取扱について 原則【平日】15:00～19:00【土曜/日曜/休日】閉室となります。 また一斉休暇期間は閉室となります。 詳細は7月中旬に研究科ホームページで公開します。							22 ⑰ 予備登録済	23 ⑰ 秋分の日 休日授業日	24 ⑰	25 ⑰	26 ⑰	27 ⑰ 予備登録済	28
28 補講	29 補講	30 補講	31 補講	01	02	03								29 ⑱	30 ⑱	01	02	03	04	05

- ・春学期・秋学期の2学期制です。日曜および祝日は、原則的に授業はありません。
- ・カレンダー内の○数字記載日が授業実施日です。数字は第何週目かを表します。
- ・「休日授業実施日」は、カレンダーでは祝日ですが、通常授業を実施します。
- ・「臨時休業」は、平日または土曜ですが、授業は全て休講します。
- ・「補講」は、学期中に休講があった場合の補講を行う期間です。授業中の指示に従ってください。

◆春学期科目の授業期間

	セメスター科目	第1クォーター科目	第2クォーター科目
平日	春学期①～⑮	春学期①～⑧ 6限	春学期⑧ 7限～⑮
土曜日	春学期①～⑭	春学期①～⑦	春学期⑧～⑭

◆その他の行事予定

履修登録	4月中旬～下旬(予定)
個人別時間割表公開 (Oh-o! Meiji)	4月下旬(予定)
履修修正	4月下旬(予定)

授業時間割表〈平日〉90分授業半期15回実施

6時限	7時限
18:55～20:25	20:30～22:00

《秋学期》 9月20日(土)～3月31日(火)

2025 10月							2025 11月							2025 12月						
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
29	30	01 ②	02 ②	03 ②	04 ②	05	27	28	29	30	31 ⑥ 創立記念祝日 授業実施日	01 ⑥ 創立記念祝日 授業実施日	02	01	02 ①①	03 ①①	04 ①①	05 ①①	06 ①①	07 オープン キャンパス
06 ③	07 ③	08 ③	09 ③	10 ③	11 ③	12	03 文化の日 事務閉室	04 ⑦	05 ⑦	06 ⑦	07 ⑦	08 ⑦ 30終了	09	08 ①①	09 ①②	10 ①②	11 ①②	12 ①②	13 ①②	14
13 スポーツの日 休日授業日	14 ④	15 ④	16 ④	17 ④	18 ④	19	10 ⑦	11 ⑧	12 ⑧ 30終了(6限) 4Q開始(7限)	13 ⑧	14 ⑧ 30終了(6限) 4Q開始(7限)	15 ⑧ 4Q開始	16	15 ①②	16 ①③	17 ①③	18 ①③	19 ①③	20 ①③	21
20 ⑤	21 ⑤	22 ⑤	23 ⑤	24 ⑤	25 ⑤	26	17 ⑧	18 ⑨	19 ⑨	20 ⑨	21 ⑨	22 ⑨	23 勤労感謝の日	22 ①③	23 ①④	24 ①④	25 冬季休業 12/25～ ～1/7	26	27	28
27 ⑥	28 ⑥	29 ⑥	30 ⑥	31 ⑥	01	02	24 ⑨ 体育の日 休日授業日	25 ⑩	26 ⑩	27 ⑩	28 ⑩	29 ⑩ ゼミ登録説明会	30	29	30	31	01	02	03	04
2026 1月							2026 2月							2026 3月						
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
29	30	31	01 元日	02	03	04	26	27	28	29	30	31	01	23	24	25	26	27	28	01
05	06	07	08 ⑫ 論文提出	09 ⑫ 論文提出	10 ⑫ 論文提出	11	02 補講	03 春季休業 2/3～ ～3/31	04	05	06	07 事務閉室	08	02	03	04	05	06	07	08
12 成人の日 休日授業日	13 ⑬	14 ⑬ 4Q終了	15 ⑬	16 ⑬ 4Q終了	17 創立記念日 臨時休業	18	09	10	11 建国記念日 事務閉室	12	13	14	15	09	10	11	12	13	14	15
19 ⑭ ゼミ登録	20 補講	21 補講	22 補講	23 補講	24 補講	25 口頭試問	16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20 自分の日 事務閉室	21	22
26 補講	27 補講	28 補講	29 補講	30 補講	31 補講	01	23 天皇誕生日 事務閉室	24	25	26	27	28	01	23	24	25	26 3月修了式 学位授与式	27	28	29

- ・春学期・秋学期の2学期制です。日曜および祝日は、原則的に授業はありません。
- ・カレンダー内の○数字記載日が授業実施日です。数字は第何週目かを表します。
- ・「休日授業実施日」は、カレンダーでは祝日ですが、通常授業を実施します。
- ・「臨時休業」は、平日または土曜ですが、授業は全て休講します。
- ・「補講」は、学期中に休講があった場合の補講を行う期間です。授業中の指示に従ってください。

◆秋学期科目の授業期間

	セメスター科目	第3クォーター科目	第4クォーター科目
平日	秋学期①～⑮	秋学期①～⑧6限	秋学期⑧7限～⑮
土曜日	秋学期①～⑭	秋学期①～⑦	秋学期⑧～⑭

◆その他の行事予定

履修登録	9月下旬(予定)
個人別時間割表公開(Oh-o! Meiji)	10月上旬(予定)
履修修正	10月上旬(予定)

授業授業時間割表〈土曜〉100分授業半期14回実施

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
9:00～10:40	10:50～12:30	13:30～15:10	15:20～17:00	17:10～18:50	19:00～20:40

## Ⅱ 履修手続きの注意事項

## 履修、修了要件

### 1 修了要件

- (1) 本研究科に2年(4学期)以上在学し、46単位以上を修得すること。
- (2) 指導教員による必要な研究指導を受けた上で、専門職成果報告書(修士論文)を作成し、審査に合格すること。
- (3) 必修科目10単位を修得すること。
- (4) 指導教員を在学2学期目に決定し、在学3学期目で「論文演習Ⅰ」を、在学4学期目で「論文演習Ⅱ」を履修し、単位を修得すること。

### 2 単位数

全科目2単位です。

### 3 注意事項

- (1) 1年間に履修できる単位数の上限(年間履修上限単位数)は36単位です。ただし、修得できる単位が修了に必要な単位数に算入されない場合は、履修上限単位数にも算入されません。
- (2) 指導教員が必要と認めた場合は、2年次からガバナンス研究科の授業科目を10単位を上限に履修することができます。修得した単位は修了に必要な単位数に算入されます。ただし、当該授業科履修に際しては、科目担当教員の承認が必要です。
- (3) 指導教員又は研究科長が必要と認めた場合は、単位互換協定による他の大学院の授業科目を履修することができます。修得した単位は4単位を上限に修了に必要な単位数に算入されます。
- (4) 研究科間共通科目のうち、本研究科教授会が必要と認めた授業科目については、4単位を上限に修了に必要な単位数に算入されます。
- (5) 専門職大学院学則第26条第2項及び第43条の規定(留学等)に基づいて本研究科の単位として認定を受けることのできる単位数の上限は、10単位とします。
- (6) 専門職大学院学則第27条の規定(入学前の既修得単位の認定)に基づいて本研究科の単位として認定を受けることのできる単位数の上限は、10単位とします。認定を受けるためには、入学年度の初めの履修登録前までに、所定の手続きが必要です。

#### 〈2020年度以降入学者〉

- (7) 「グローバル・ビジネス研究(海外研修科目)」は4単位を上限として修了に必要な単位数に含まれます。

#### 〈2023年度以降入学者〉

- (8) 上記(2)、(3)、(5)及び(6)の規定により、修了に必要な単位数に算入できる上限は、在学期間を通して16単位とします。

## 履修登録

### 1 履修登録

毎学期、所定の期間に履修する科目の登録（履修登録）が必要です。 Semester 科目の履修登録は学期の初めとし、クォーター科目の履修登録はクォーターの初めとします。ただし、海外研修を伴う科目の履修登録は科目ごとに定め、Oh-o! Meiji でご案内します。

履修登録をしていない科目、履修エラーのある科目は単位が与えられないので注意してください。

### 2 明治大学教務システム

所定の期間に明治大学教務システムやオンライン専用フォームを使って履修登録を行ってください。明治大学教務システムでは共通認証パスワード（Oh-o! Meiji システムと同様）が必要です。具体的な履修登録方法は Oh-o! Meiji でご案内します。

### 3 「個人別時間割表」の確認

当該学期の履修登録後に Oh-o! Meiji にて公開される「個人別時間割表」と自身の履修計画が異なる場合は、履修修正期間に修正を行ってください。この期間を過ぎた場合、履修科目の追加・変更・取消は認められません。

### 4 履修登録の注意事項

- (1) 授業時間割表及びシラバスは、本研究科 WEB ページに公開されています。また、シラバス（冊子）は希望者に対してのみ事務室窓口で配布します。
- (2) 病気その他のやむを得ない理由によって履修登録期間に手続きできない場合は、事前に研究科窓口まで申し出てください。

学生諸君へ

## レポート・論文の剽窃（盗用）行為への注意

明治大学

昨今、授業の課題として課せられるレポートや論文を作成する際に、他人の文章（書籍・論文・Web ページ）をそのまま無断で借用したり、他の学生が作成した文章をあたかも自分の文章であるかのごとくみせかける<sup>ひようせつ</sup>剽窃（盗用）行為が目立つとの指摘が多くの教員から寄せられています。

大学としては、このようなことは看過できませんので、学生諸君は、以下の点によく注意をしてレポートや論文を作成するようにしてください。

### (1) 剽窃（盗用）行為は社会的に許されない行為

剽窃行為は、他人の学問的業績を無断で借用することであり、学問のルールに反するだけでなく、場合によっては他人の著作権を侵害する犯罪行為にもなる社会的に許されない行為です。

### (2) 剽窃（盗用）行為とみなされる事例

次のような行為は、剽窃（盗用）とみなされます。また、これに類似した行為や剽窃を助ける行為（レポート等のひな形を作成して他人に見せること等）も同様です。

- 活字媒体（書籍・雑誌・新聞等）や Web サイト等に掲載された他人の文章（無署名であっても）や資料等を出典を示さずにそのまま使い、あるいは前後関係や語句を若干変更した程度でレポート・論文を作成すること。
- 引用した部分を具体的に示さず、レポート・論文の最後に「〇〇参照」などと簡単に触れるにとどめること。
- 他人が作成した文章をあたかも自分が作成したかのごとくみせかけて、あるいは前後関係や語句を若干変更してレポート・論文を作成すること。

### (3) 剽窃（盗用）行為は処分の対象

定期試験に代えて実施されるレポートや論文の場合、剽窃あるいは剽窃を助ける行為が明らかであれば、定期試験での不正行為（カンニング）と同様の処分（その科目のみならず当該期の全登録科目の不合格や停学処分等）の対象となることがあります。

以上

## 科目ナンバリングについて

2020年度のシラバスから、本学の科目ナンバリング制度による科目ナンバーを、各授業科目シラバスに付番しています。この科目ナンバリング導入の目的、概要及び構造については以下のとおりです。

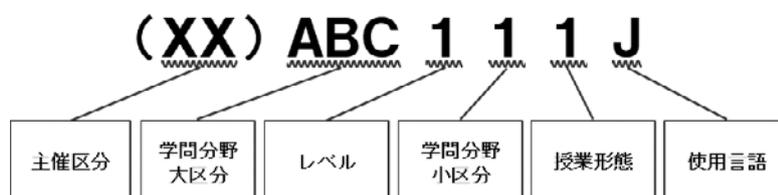
### 科目ナンバリング導入の目的

明治大学が開講する全ての授業科目を「学問分野」・「レベル」等で分類し、各々に科目ナンバーを付番することで、授業科目個々の学問的位置づけを示すことにより学生の計画的な学修への一助とすること、海外の大学との連携を容易とするためのツールとすること等を目的としています。

### 明治大学科目ナンバリングの概要及び構造

本大学が開講する全ての授業科目に、以下の科目ナンバリングコード定義に基づき、科目ナンバーを付番します。

〈科目ナンバーの構造〉



### 〈各ナンバリングコードの定義〉

#### ①主催区分コード

当該科目を開講する主催機関（学部・研究科・共通など）をアルファベット2文字で示しています。

#### ②学問分野 大区分コード

学問分野を本学が大きく区分した中で、当該科目が分類される学問分野をアルファベット3文字で示しています。

#### ③レベルコード

当該科目のレベルを数字1文字で示しています。

#### ④学問分野 小区分

本学が大区分として分類した学問分野の中で、さらに分類される分野を小区分として数字1文字で示しています。

#### ⑤授業形態コード

当該授業の実施形態を数字1文字で示しています。

#### ⑥使用言語コード

当該授業の教授における使用言語を英字1文字で示しています。

### 〈各コードの詳細〉

各ナンバリングコードの詳細及び他学部等の開講科目の科目ナンバーについては、本学ホームページ又は Oh-o! Meiji システムにて確認ください。

以下必要に応じ、当該学部等の科目ナンバーの例示を載せることも可です（省略も可）。

以 上

## MBS ILOs System / 明治大学グローバル・ビジネス研究科 ILOs 体系

グローバル・ビジネス研究科では、当研究科を修了することで達成される学習到達目標（Programme Inteded Learning Outcomes）及び各クラスターに属する科目を履修することで達成される学習到達目標（Cluster Inteded Learning Outcomes）を以下の通り定義しており、これらを合わせて「ILOs 体系」と呼んでいます。各授業科目を履修することで達成される学習到達目標（Course Inteded Learning Outcomes）は各授業のシラバスに、それらを一覧でまとめた表はシラバス冊子の巻末に示しています。履修科目を決定する際の参考としてご活用ください。

Definition in English		定義（日本語）	Type	Key pillars
Program ILOs				
1	Ethically evaluate business practices and situations to apply ERS (Ethics, Responsibility, and Sustainability) consistently.	常にERSを意識して企業実務やビジネス環境を倫理的側面から把握する。	Behaviours Knowledge	ERS
2	Cultivate an innovative entrepreneurial approach.	革新的な起業家精神を涵養する。	Behaviours Understanding of the world of practice and acquiring managerial skills	Business and management
3	Demonstrate an understanding of multicultural business environments and communicate effectively in global settings.	ビジネスにおける多文化的な背景を理解し、グローバルな環境において効果的にコミュニケーションを行う。	Skills International perspectives	Internationalisation
4	Develop solid knowledge foundations of the main business functions to integrate and synthesise them into actual business practice.	主なビジネス領域における強固な知識基盤を養い、実際のビジネス実務においてそれを統合し総合化する。	Knowledge	Business and management
5	Strategically plan, execute, and lead under complex and uncertain business environments.	複雑で不確実なビジネス環境において、戦略を立案・実行し、リーダーシップを発揮する。	Skills International perspectives Awareness of the broader trends in society	Business and management
Cluster ILOs				
FB	Family Business 1	Being able to identify key issues in family business succession with regard to tax planning, laws or stakeholders.	ファミリービジネスの事業継承を行うにあたって、主たる問題となるタックスプランニング、法律問題、ステークホルダーとの関係性における課題を認識できるようになる。	Understanding of the world of practice and acquiring managerial skills ERS
	Family Business 2	Demonstrate appropriate abilities to integrate knowledge and skills across family business management with regard to business planning, innovation including second-time-start-up, human resource management or laws.	ファミリービジネス経営及び運営に当たり、ビジネスプラン策定、第二次創業を含むイノベーション、人事管理、法律問題に関する知識とスキルを統合するために適切な能力を発揮する。	Behaviours Business and management
	Family Business 3	Being able to plan financial strategy in order to manage sound family business based on market analysis.	市場分析に基づいた健全なファミリービジネス運営のための資金戦略を立案することができる。	Skills Business and management
SU	Start-up 1	Develop business model for start-up business in competitive environments by analyzing customers, understanding their needs and wants in market.	マーケットにおける顧客分析や需要の理解を通して、競争環境におけるスタートアップビジネスのビジネスモデルを開発する。	Understanding of the world of practice and acquiring managerial skills Business and management
	Start-up 2	Demonstrate appropriate abilities to integrate knowledge and skills across start-up business management with regard to business planning, marketing strategy, human resource management or laws.	スタートアップビジネス経営及び運営に当たり、ビジネスプラン策定、マーケティング戦略、人事管理、法律問題に関する知識とスキルを統合するために適切な能力を発揮する。	Behaviours Business and management
	Start-up 3	Being able to plan financial strategy in order to manage stable start-up business by appropriate sources and methods for raising funds.	安定的なスタートアップビジネス運営のための適切な資金調達方法を用いた資金戦略を立案することができる。	Skills Business and management

# Ⅲ 授業科目一覽

# 授業科目及び担当者

必修科目群・共通科目群							
科目群	授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
必修科目	ファイナンス基礎論	2	1・2	教授	山村 能郎	春秋開講 ※1	25
必修科目	Fundamentals of Finance	2	1・2	教授	サントス ミゲル	英語科目	26
必修科目	マネジメント基礎論	2	1・2	教授 特任教授	野田 稔 安達 幸裕	春秋開講 ※1	27
必修科目	Fundamentals of Management	2	1・2	教授	許 佑旭	英語科目	28
必修科目	アカウンティング基礎論	2	1・2	教授	山口不二夫	春秋開講 ※1	29
必修科目	Fundamentals of Accounting	2	1・2	教授	姚 俊	英語科目	30
必修科目	マーケティング基礎論	2	1・2	教授 教授 教授	橋本 雅隆 戸谷 圭子 首藤 明敏	春秋開講 ※1	31
必修科目	Fundamentals of Marketing	2	1・2	教授	鳥山 正博	英語科目	32
必修科目	Global Business Studies	2	1・2	教授	サントス ミゲル 沼田 優子	春秋開講 英語科目 ※2	33
共通科目	企業倫理	2	1・2	教授	山口不二夫		34
共通科目	ゲーム論と企業戦略	2	1・2	兼任講師	丸田 利昌		35
共通科目	ビジネス・データ解析	2	1・2	教授	王 京穂		36
共通科目	経済学	2	1・2	教授	山村 能郎		37
共通科目	日本経済と経営	2	1・2	(会) 教授	吉村 孝司	春秋開講	38
共通科目	自己表現 (プレゼンス)	2	1・2	兼任講師	三輪えり花		39
ファイナ ンス領域	グローバル・ビジネス研究Ⅱ (2019年度以前入学者)	2	1・2	教授	王 京穂 山村 能郎	ハイブリッド 対応なし	40
共通科目	グローバル・ビジネス研究Ⅰ～Ⅷ (2020年度以降入学者)						
マネジメ ント領域	グローバル・ビジネス研究Ⅲ (2019年度以前入学者)	2	1・2	教授	許 佑旭	英語科目 ハイブリッド 対応なし	40
共通科目	グローバル・ビジネス研究Ⅰ～Ⅷ (2020年度以降入学者)						
リアルエ ステート 領域	グローバル・ビジネス研究Ⅳ (2019年度以前入学者)	2	1・2	兼任講師	村木 信爾	ハイブリッド 対応なし	41
共通科目	グローバル・ビジネス研究Ⅰ～Ⅷ (2020年度以降入学者)						
アカウン ティング 領域	グローバル・ビジネス研究Ⅵ (2019年度以前入学者)	2	1・2	教授	藤岡 資正	ハイブリッド 対応なし 2025年度未開講	
共通科目	グローバル・ビジネス研究Ⅰ～Ⅷ (2020年度以降入学者)						
マネジメ ント領域	グローバル・ビジネス研究Ⅶ (2019年度以前入学者)	2	1・2	教授	山口不二夫	2025年度未開講	
共通科目	グローバル・ビジネス研究Ⅰ～Ⅷ (2020年度以降入学者)						
マネジメ ント領域	グローバル・ビジネス研究Ⅷ (2019年度以前入学者)	2	1・2	教授	山口不二夫	英語科目 ハイブリッド 対応なし	42
共通科目	グローバル・ビジネス研究Ⅰ～Ⅷ (2020年度以降入学者)						

※1 使用言語が日本語の必修科目は、同一科目で年間2コマまたは3コマ開講します。その内の1コマのみ履修可能です。

※2 「Global Business Studies」は、担当教員が異なる場合も同一科目扱いのため、いずれかの履修しか認められません。内容は異なります。

専門科目群（ファイナンス・リアルエステート領域）						
授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
コーポレート・ファイナンス	2	1・2	教授	王 京穂		43
リスク・マネジメント	2	1・2	教授	王 京穂		44
金融工学基礎	2	1・2	教授	王 京穂		45
証券投資論	2	1・2	兼任講師	伊藤 敬介	2025年度未開講	
年金マネジメント	2	1・2	兼任講師	大坪英二郎	ハイブリッド 対応なし	46
パーソナルファイナンス	2	1・2	兼任講師	大坪英二郎	ハイブリッド 対応なし	47
行動ファイナンス論	2	1・2	教授	王 京穂		48
金融論	2	1・2	兼任講師	小田切尚登		49
ケース・スタディ I（ファイナンス）	2	1・2	教授	王 京穂		50
CaN International 寄附講座 「Strategy for CFO and M&A Accounting」 [M]	2	1・2	客員教授 客員准教授	大久保昭平 小田 英毅	英語科目 メディア授業科目	51
企業資金マネジメント	2	1・2	教授	サントス ミゲル		52
Corporate Liquidity Management	2	1・2	教授	サントス ミゲル	英語科目	53
Corporate Value Management	2	1・2	教授	サントス ミゲル	英語科目	54
企業価値マネジメント	2	1・2	教授	サントス ミゲル		55
不動産ファイナンス論	2	1・2	教授	山村 能郎		56
不動産開発論	2	1・2	兼任講師	信田 直昭		57
都市計画論	2	1・2	教授	山村 能郎		59
不動産実務・税制（ファミリービジネス）	2	1・2	兼任講師	村木 信爾		60
不動産市場分析	2	1・2	教授	山村 能郎		61
企業不動産（CRE）戦略・サービス論	2	1・2	兼任講師	村木 信爾		62
グローバル CRE（企業不動産）戦略論	2	1・2	兼任講師	佐藤 俊朗		63
証券化関連法	2	1・2	兼任講師	片山 典之		64
テスホールディングス寄附講座 ESG 投資と ESG 経営	2	1・2	客員教授	山本 一樹 吉田麻友美		65

専門科目群（マネジメント領域）						
授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
スタートアップビジネスI（スタートアップ経営概論）	2	1・2	客員教授	土屋 繼	新設	66
スタートアップビジネスII（アントレプレナーシップ概論）	2	1・2	客員教授	石川 明	ハイブリッド 対応なし	67
戦略マネジメント	2	1・2	（営）教授	歌代 豊		68
ファミリービジネス概論	2	1・2	兼任講師	加藤 幸人		69
中小企業論	2	1・2	特任教授	安達 幸裕		70
中小企業経営概論	2	1・2	特任教授	安達 幸裕		71
ファミリービジネスと企業家精神	2	1・2	特任教授	安達 幸裕		72
ファミリービジネスと人材戦略	2	1・2	特任教授	安達 幸裕		73
ファミリービジネスと経営計画策定	2	1・2	特任教授	安達 幸裕		74
ファミリービジネスコンサルティング	2	1・2	特任教授	安達 幸裕		75
International Business	2	1・2	兼任講師	ペリッツァー マルコ	英語科目	76
Global Business and Sustainability	2	1・2	兼任講師	ペリッツァー マルコ	新設 英語科目	78
経営組織論	2	1・2	教授	野田 稔		79
組織行動論	2	1・2	教授	野田 稔		80
HRM・人材育成論	2	1・2	教授	野田 稔		81
HRM・人材育成論（演習）	2	1・2	教授	野田 稔		82
Family Business	2	1・2	教授	許 佑旭	英語科目/ 隔年開講科目	83
International Family Business	2	1・2	教授	許 佑旭	英語科目/ 隔年開講科目 2025年度未開講	
Human Resource Management	2	1・2	教授	許 佑旭	英語科目/ 隔年開講科目 2025年度未開講	
International Human Resource Management	2	1・2	教授	許 佑旭	英語科目/ 隔年開講科目	84

授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
M & A 概論	2	1・2	教授	岡 俊子		85
M & A 基礎スキル演習	2	1・2	教授	岡 俊子		86
ディールサイクル	2	1・2	教授	岡 俊子		87
プライベートエクイティファンド概論	2	1・2	教授	岡 俊子		88
M & A とガバナンス	2	1・2	教授	岡 俊子		89
ベンチャーのエコシステム	2	1・2	教授	岡 俊子		91
Strategic Management	2	1・2	教授	沼田 優子	春秋開講 英語科目	92
経営戦略論	2	1・2	教授	沼田 優子	春秋開講 英語科目	93
オペレーション	2	1・2	兼任講師	竹之内 隆		94
ヘルスケア・マネジメント	2	1・2	兼任講師	田中智恵子		95
マネジメント・ワークショップ	2	1・2	教授	首藤 明敏		95
スタートアップビジネスⅢ(ビジネスイノベーション)	2	1・2	教授 兼任講師	首藤 明敏 狩谷 真治		96
ケース・スタディⅢ (マネジメント)	2	1・2	教授	野田 稔		97
ケース・スタディⅣ (マネジメント)	2	1・2	教授	野田 稔		98
知的資本戦略論	2	1・2	兼任講師	関 大地		99
トランストラクチャ寄附講座 「人事の定量分析論」	2	1・2	客員教授	林 明文	ハイブリッド 対応なし	100
中国経済事情	2	1・2	教授	王 京穂		101
企業戦略論	2	1・2	兼任講師	土屋 繼		102
Business Communication	2	1・2	兼任講師	小田切尚登	春秋開講 英語科目	102
新興市場のマネジメント	2	1・2	教授	藤岡 資正	2025年度未開講	
新興市場のマネジメント (演習)	2	1・2	教授	藤岡 資正	2025年度未開講	

専門科目群 (アカウンティング領域)						
授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
財務会計論	2	1・2	教授	山口不二夫	隔年開講科目 2025年度未開講	
企業分析	2	1・2	教授	山口不二夫		104
Business Analysis (Seminar)	2	1・2	兼任講師	許 英姿	英語科目	105
非営利組織の会計	2	1・2	教授	山口不二夫		106
戦略とマネジメント・コントロール・システム	2	1・2	教授	藤岡 資正	2025年度未開講	
戦略とマネジメント・コントロール・システム (演習)	2	1・2	教授	藤岡 資正	2025年度未開講	
租税法概論	2	1・2	特任教授	池田 義典	春秋開講	107
タックス・マネジメント基礎	2	1・2	教授	鈴木 孝直	春秋開講	107
タックス・マネジメント応用	2	1・2	特任教授	池田 義典	春秋開講	108
タックス・マネジメント国際	2	1・2	特任教授	池田 義典		109
山田コンサルティンググループ寄附講座 「事業承継・M & A・資産承継の税務」	2	1・2	客員教授 客員教授	奥村 忠史 前田 祐		110
所得税法	2	1・2	教授	鈴木 孝直	春秋開講	111
国際租税法	2	1・2	教授	大野 雅人	春秋開講	112
法人税法	2	1・2	(会)教授 教授	池上 健 大野 雅人	春秋開講	112
租税手続法	2	1・2	教授	大野 雅人		113
資産課税法	2	1・2	教授	鈴木 孝直	春秋開講	113
消費税法	2	1・2	教授	大野 雅人		114
中小企業の会計	2	1・2	兼任講師	小川 晃司		115
企業価値評価論	2	1・2	兼任講師	富田 竜一	ハイブリッド 対応なし	116
キャッシュ・フロー・マネジメント会計	2	1・2	兼任講師	高橋 篤史		118
国際会計実務	2	1・2	兼任講師	許 英姿		119
租税法演習Ⅰ	2	1・2	教授	大野 雅人		120
租税法演習Ⅱ	2	1・2	特任教授	池田 義典		120

専門科目群（マーケティング領域）						
授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
マーケティング環境分析	2	1・2	兼任講師	中島 聡		121
サービス・マーケティング	2	1・2	教授	戸谷 圭子		122
製造業のサービス化	2	1・2	教授	戸谷 圭子		123
ヘルスケア・マーケティング	2	1・2	兼任講師	田中智恵子		123
e-マーケティング	2	1・2	兼任講師	高橋 一貢	ハイブリッド 対応なし	124
Digital Marketing	2	1・2	教授	鳥山 正博	新設 英語科目	124
消費者行動論	2	1・2	兼任講師	松下 光司		125
商品開発	2	1・2	教授	鳥山 正博	新設	126
ブランド価値経営	2	1・2	教授	首藤 明敏		127
マーケティング・コミュニケーション	2	1・2	教授	首藤 明敏		128
ビジネス・マーケティング	2	1・2	兼任講師	中 麻弥美		129
流通マネジメント（ファミリービジネス）	2	1・2	教授	橋本 雅隆		130
データドリブンマーケティング	2	1・2	兼任講師	山之口 援		131
ロジスティクス論	2	1・2	教授	橋本 雅隆		132
流通論	2	1・2	教授	橋本 雅隆		133
サプライチェーン・マネジメント	2	1・2	教授	橋本 雅隆		134
マーケティング・リサーチ	2	1・2	教授	鳥山 正博		135
マーケティング論文読解	2	1・2	教授	戸谷 圭子	新設	136
マーケティングデータ解析	2	1・2	教授	鳥山 正博	新設	137
ケース・スタディⅠ（マーケティング）	2	1・2	教授	首藤 明敏		138
ケース・スタディⅡ（マーケティング）	2	1・2	教授	戸谷 圭子		139
ケース・スタディⅢ（マーケティング）	2	1・2	教授	戸谷 圭子	新設	140

ビジネス・ロー領域						
授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
ビジネスロー概論	2	1・2	教授	中山 知己	春秋開講	142
企業法務	2	1・2	兼任講師	石上麟太郎		143
ビジネス物権法	2	1・2	教授	中山 知己		144
ビジネス契約法	2	1・2	教授	中山 知己	春秋開講	145
ケース・スタディ民法	2	1・2	教授	中山 知己		146
相続法の基礎	2	1・2	(法務)教授	平田 厚	春秋開講	147
労働法の基礎	2	1・2	(法務)教授	志水 深雪		148
企業活動と知的財産	2	1・2	教授	熊谷 健一	春秋開講	149
事業戦略と知的財産マネジメント（基礎）	2	1・2	教授	熊谷 健一		150
事業戦略と知的財産マネジメント(ケース・スタディ)	2	1・2	教授	熊谷 健一		151
著作権マネジメント	2	1・2	教授	熊谷 健一	春秋開講	152

論文演習						
授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
論文演習Ⅰ	2	2	教授	王 京穂	春秋開講	153
論文演習Ⅱ	2	2	教授	王 京穂	春秋開講	153
論文演習Ⅰ	2	2	教授	山村 能郎	春秋開講	154
論文演習Ⅱ	2	2	教授	山村 能郎	春秋開講	154
論文演習Ⅰ/Thesis Tutorial 1	2	2	教授	サントス ミゲル	春秋開講 英語科目	155
論文演習Ⅱ/Thesis Tutorial 2	2	2	教授	サントス ミゲル	春秋開講 英語科目	156
論文演習Ⅰ	2	2	兼任講師	村木 信爾	春秋開講	157
論文演習Ⅱ	2	2	兼任講師	村木 信爾	春秋開講	157
論文演習Ⅰ	2	2	教授	野田 稔	春秋開講	158
論文演習Ⅱ	2	2	教授	野田 稔	春秋開講	158
論文演習Ⅰ（日本語）	2	2	教授	藤岡 資正	春秋開講	159
論文演習Ⅱ（日本語）	2	2	教授	藤岡 資正	春秋開講	160

授業科目	単位	配当年次	職格	教員氏名	備考	ページ
論文演習 I /Thesis Tutorial 1 (英語)	2	2	教授	藤岡 資正	春秋開講 英語科目	160
論文演習 II /Thesis Tutorial 2 (英語)	2	2	教授	藤岡 資正	春秋開講 英語科目	161
論文演習 I	2	2	教授	岡 俊子	春秋開講	161
論文演習 II	2	2	教授	岡 俊子	春秋開講	162
論文演習 I /Thesis Tutorial 1	2	2	教授	許 佑旭	春秋開講 英語科目	162
論文演習 II /Thesis Tutorial 2	2	2	教授	許 佑旭	春秋開講 英語科目	163
論文演習 I	2	2	教授	沼田 優子	春秋開講	163
論文演習 II	2	2	教授	沼田 優子	春秋開講	164
論文演習 I	2	2	特任教授	安達 幸裕	春秋開講	165
論文演習 II	2	2	特任教授	安達 幸裕	春秋開講	166
論文演習 I	2	2	教授	山口不二夫	春秋開講	166
論文演習 II	2	2	教授	山口不二夫	春秋開講	167
論文演習 I	2	2	教授	大野 雅人	春秋開講	167
論文演習 II	2	2	教授	大野 雅人	春秋開講	168
論文演習 I	2	2	教授	鈴木 孝直	春秋開講	168
論文演習 II	2	2	教授	鈴木 孝直	春秋開講	169
論文演習 I	2	2	特任教授	池田 義典	春秋開講	169
論文演習 II	2	2	特任教授	池田 義典	春秋開講	170
論文演習 I	2	2	教授	戸谷 圭子	春秋開講	170
論文演習 II	2	2	教授	戸谷 圭子	春秋開講	171
論文演習 I	2	2	教授	橋本 雅隆	春秋開講	171
論文演習 II	2	2	教授	橋本 雅隆	春秋開講	172
論文演習 I	2	2	教授	首藤 明敏	春秋開講	172
論文演習 II	2	2	教授	首藤 明敏	春秋開講	173
論文演習 I	2	2	教授	中山 知己	春秋開講	173
論文演習 II	2	2	教授	中山 知己	春秋開講	174
論文演習 I	2	2	教授	熊谷 健一	春秋開講	174
論文演習 II	2	2	教授	熊谷 健一	春秋開講	175
論文演習 I	2	2	教授	鳥山 正博	春秋開講	175
論文演習 II	2	2	教授	鳥山 正博	春秋開講	176

## クラスター履修モデル

本研究科では、従来の学問分野という概念に加え、分野横断的な履修モデルである「クラスター」の概念を導入しています。以下に両クラスターの履修モデルを掲載しますので履修科目選定の参考にしてください。

### 〈ファミリービジネス・クラスター履修モデル〉

科目群・領域	科目名
共通科目	企業倫理
ファイナンス・リアルエステート	企業資金マネジメント
ファイナンス・リアルエステート	ESG 投資と ESG 経営
マネジメント	中小企業論
マネジメント	中小企業経営概論
マネジメント	ファミリービジネスと企業家精神
マネジメント	ファミリービジネスと人材戦略
マネジメント	ファミリービジネスと経営計画策定
マネジメント	経営組織論
マネジメント	組織行動論
アカウンティング	企業分析
アカウンティング	租税法概論
アカウンティング	中小企業の会計
マーケティング	ブランド価値経営
マーケティング	流通マネジメント（ファミリービジネス）
ビジネス・ロー	ビジネスロー概論

### 〈スタートアップビジネス・クラスター履修モデル〉

科目群・領域	科目名
共通科目	企業倫理
ファイナンス・リアルエステート	企業資金マネジメント
ファイナンス・リアルエステート	ESG 投資と ESG 経営
マネジメント	スタートアップビジネスⅡ
マネジメント	中小企業論
マネジメント	ベンチャーのエコシステム
マネジメント	ビジネスイノベーション
アカウンティング	企業分析
アカウンティング	戦略とマネジメント・コントロール・システム
アカウンティング	戦略とマネジメント・コントロール・システム（演習）
アカウンティング	租税法概論
アカウンティング	中小企業の会計
マーケティング	e-マーケティング
マーケティング	デザインシンキング
ビジネス・ロー	ビジネスロー概論
ビジネス・ロー	企業活動と知的財産